

第13回ハウジングデザイン賞



◆表彰目的

大阪市内で建設された魅力ある良質な都市型集合住宅を表彰し、その優れた面を明らかにすることにより、市内に良質な都市型集合住宅の建設を促進するとともに、広く市民の方々や住宅供給に携わる人々の住宅に対する意識の向上を図ることを目的としています。

◆対象

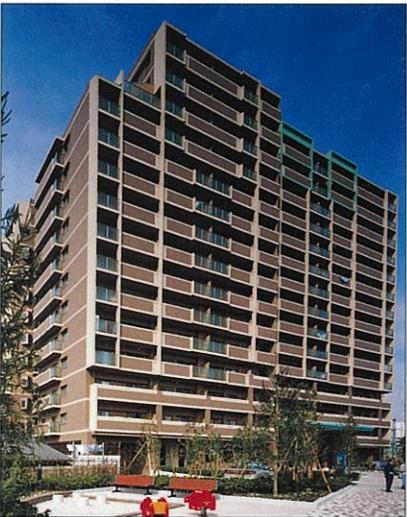
大阪市内で、概ね過去5年以内に完成した民間マンションを対象としています。団地の全体計画等に優れたものについては、団地全体が完成した時点で全体を審査の対象とすることができます。

◆推薦方法

毎年、6月頃に対象となる民間マンションの推薦を募集します。どなたでも推薦できます。

受賞作品

ローレルコート城北公園通り（分譲）



大川沿いの眺望のよいまとまった用地をうまく活用した大規模団地である。

307戸をコの字型に配置し、分節と階段状で変化のある住棟とし、圧迫感を感じさせない計画となっている。

中庭の空間の取り方が特に優れており、下部を外部から直接見えない駐車場と駐輪場とし、上部には広々とした緑地や遊び場、民営の託児所などが設けられている。

外観デザインもシンプルで色調も暖かみがあり、住戸は天井が高く、バルコニーも広くとり、間取りについても生活者の動線を重視した工夫が見られる。

植栽も身近で親しみやすい花木を中心によく吟味されており、敷地全体がバリアフリーであるなど、細やかな配慮がいきとどいたファミリー型住宅の好例である。

所在地／大阪市都島区毛馬3丁目
事業者／近鉄不動産株式会社
設計者／株式会社竹中工務店
施工者／大日本土木株式会社大阪支店

受賞作品

プラネスベリア与力町（分譲）



ゆずり葉の道に面し、斜め前方に公園があるという好条件の敷地に、総合設計制度及び優良建築物等整備事業制度を活用した都心の高層集合住宅である。

バルコニーを内部に取り込み、低・中・高層と色彩に少しづつ変化を持たせた外観は、都市型住宅として洗練されたデザインとなっている。

住棟入り口をはじめ随所で、材質とデザインに細かい気配りが見られ、住戸も高い天井と落ち着いた色彩で、近年の家族構成の変化に対応した豊富なバリエーションが計画され、多様な住まいの方に応じられるものとなっている。

構造面での快適性の追求からインテリアへの心配りまで、建築技術的にもソフトの面でも優れた計画であり、都市に立地する住宅の範となる上質な住宅である。

所在地／北区与力町3丁目
事業者／新星不動産株式会社
設計者／株式会社日建ハウジングシステム大阪支社
施工者／戸田建設株式会社大阪支店
施工者／戸田建設株式会社大阪支店
施工者／株式会社藤木工務店大阪本店

◆審査

推薦のあった住宅について、「大阪市ハウジングデザイン賞審査委員会」において、次の審査基準により書類審査、現地調査を行って選考します。

- (1) 市民の多様なニーズや地区の特性に対応した水準の高い住宅
- (2) 外観デザイン、配置計画、住戸計画等に優れ、魅力ある住宅や住環境となっているもの
- (3) 新しい技術の開発や斬新なアイデアの導入等により、快適な住空間が形成されているもの
- (4) 人にやさしいすまいづくりの観点から、適切な配慮がなされているもの
- (5) 既存住宅を有効に活用し、優れた改造等が行われているもの
- (6) 維持管理が適切に行われ、住宅や住環境が良好に保たれているもの
- (7) その他、住宅や住環境に関して優れているもの

◆賞の種類

「大阪市ハウジングデザイン賞」とし、総合的な観点から見て特に優れたものを「大賞」、また、特定の分野において特に優れたものを「特別賞」とします。

◆表彰

表彰対象住宅の事業者、設計者、施工者及び管理組合等を表彰します。また、住宅には受賞を表わす銘板を取り付けます。

◆審査委員

[委員長] 異 和夫 (京都大学名誉教授)
[委員] 東 孝光 (大阪大学名誉教授)
高橋 敏子 (大阪国際文化協会会長)
徳矢 典子 (弁護士)
宮井 市太郎 (日本放送協会大阪放送局編成部チーフディレクター)
三輪 雅久 (大阪市立大学名誉教授)
山下 英次 (大阪市立大学経済学部助教授)
山本 晃 (元大阪市都市整備局長)
分目 勝也 (住宅金融公庫大阪支店長)

〈総評〉

本年度の特徴としては、厳しい経済状況の中、基本的属性を選び、他の属性を思い切って取捨選択する「節約・節減」傾向が見られ、自を引くデザインより、日常生活面での便利さや心地よい生活空間づくりに意を絞ったものが多くなっている。

建物については、落ち着いたデザインで、ソフトでナチュラルな雰囲気のものが多く、建物の外観デザインにも工夫をこらして、楽しさを演出した作品が増えている。

また、住戸では、バリアフリーの取り入れ、台所の採光、広いバルコニーの確保が行なわれており、天井高さや間取りにも工夫が見られ、材質や仕上げも向上している。

その一方で、近年充実が図られてきていた緑地空間計画は、今年度は一部のものを除いて、全体的にみてやや見劣りする。

新しい傾向としては、定期借地権付き分譲住宅や、生活支援施設として民営の託児所の設置などがみられ、今後の多様な都市住居ニーズに対応する試みとして注目される。

ただ、分譲住宅に比べて、賃貸住宅に優れたプロジェクトが少ないのが残念である。

受賞作品

ラグザ大阪・レジデンス（分譲）



再開発地区計画の策定された鉄道用地の跡地に、ホテル・事務所と一体の開発として、優良建築物等整備事業制度を活用して建設された都心型の高層住宅である。

細長い敷地でありながら、配置を雁行させることにより、威圧感を解消して、ホテル棟とも調和したデザインで、建築群としてリズミカルな印象の外観となっている。

また、一階は遊歩道に面して店舗や集会室を設け、連続する他施設との共用空間である通り抜けアトリウムやせせらぎのある広場につなげ、活気のある都会らしい雰囲気をかもし出している。ただ、児童公園については、やや違和感があり、検討が必要であろう。

北側の騒音対策が不十分であるが、定期借地権付き分譲方式を採用し、低価格の都心型住宅を実現しており、魅力ある都心居住のモデルとして、今後に多くの示唆を提供していると言える。

所在地／大阪市福島区福島5丁目
事業者／阪神電気鉄道株式会社
設計者／株式会社竹中工務店
施工者／株式会社竹中工務店
施工者／株式会社ハシシエン建設
五洋建設株式会社大阪支店

所在地／大阪市東成区深江北1丁目
事業者／株式会社野村工務店
設計者／ズーム計画工房
施工者／株式会社富士工大阪支店

受賞作品

深江スパイラル（賃貸）

